



Honda FLYING CLUB  
Honda FLYING SCHOOL

**238**

**JAN 2021**



## 謹んで新年のお喜びを申し上げます

ホンダフライングクラブ会長 濱尾 豊

昨年はコロナウイルスにより憲法に保証されている基本的人権の自由が制限された一年となりました。

我がホンダフライングクラブも総会を含めてほとんど計画した事業が出来ず、つらい一年となりましたが、私も時たま飛行場に顔を出すとクラブ員は技量維持のための完熟飛行や夜間飛行訓練と、時の来るのに備えてセスナに乗って空を飛んでおり、頼もしい限りでした。

クラブ理事会においては、外国免許取得の方のクラブ入会キャンペーンや日帰り又は一泊ナビゲーションなど、今年は昨年の分も取り戻す勢いで楽しい企画を考えておりますので楽しみにしてください。

今年こそは人類の知恵を結集してコロナウイルスを乗り越え、安心安全な社会を取り戻したいと思います。



ホンダジェットがホンダエアポートローパスの一枚です

2020年8月30日 ホンダフライングクラブ理事 吉田英孝氏撮影

## 新年あけましておめでとうございます。

HFC会員の皆様におかれましてはコロナ禍の中、大変な一年を過ごされてきたかと思ます。

昨年、全世界で新型コロナウイルスが蔓延し、国内では緊急事態宣言の発出もありました。一時は感染者が減少してきたものの終息まで至らず、政府も医療と経済のバランスに苦慮している中、第二・第三と波が拡大してきました。年度末には欧州の一部や米国で待望のワクチン接種がはじまりましたが、安全性が担保され早く期待されている効果が出ることを願っています。日本でも早い段階でワクチン接種が始まり、一日でも早く穏やかな生活に戻れる事を祈っております。当社でも皆様方への感染リスクを回避すべく、社員の移動制限をはじめ、三密回避など様々な対応と同時に飛行機事業の一時停止やクラブ、スクールの皆様にも相乗りの自粛・行動記録の提出など多くの負担をお願いしてまいりました。こうしたご協力の成果もあり、お陰様で飛行場内での感染もなくフライトも例年レベルに戻りつつありますが、皆様には感染予防に向けた引続きのご協力をお願い申し上げます。

今年、航空業界で将来に亘っての懸案となっています操縦士不足の改善にも取組み、空を目指す多くの皆さんの一助となる様、大分事業所の能力を拡充し、同時に新型機(DA42V1)を導入していく計画をしています。本社においてもスクール強化にも取組むことで、より多くの方が空を楽しんで頂ける様、進めてまいりたいと考えております。引続き、安全運航を第一に、皆様が安心して大空を楽しみ、充実したHFC活動の一助となるお手伝いを継続していきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。クラブ員の皆様におかれましては健康に留意し、より良い一年となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



本田航空株式会社 代表取締役社長 中村文彦

## ファースト・ソロ



No.21001 久保 洋介 様

皆さへん、久保様が初ソロに出ました！！  
皆さんが、初ソロに出た時、どんなお気持ちでしたか？

### 教官からのひとこと

久保 様

ファースト・ソロおめでとうございます。  
慎重かつ真面目な性格から、やや時間がかかってしまいましたが、地道な努力の成果が見られた安定したフライトであったと思います。  
これからもまだまだいろいろ大変かとは思いますが、引き続き慎重さを忘れずに一歩一歩確実に進んでいただけたらと思います。  
頑張ってください。

飛行機部教官 澤井

## 新教官自己紹介

皆様はじめまして、竹岡靖弘と申します。

長崎県出身 31歳 温泉を巡り、湯上りに瓶牛乳を一気に飲み干すことが、最近の休日の楽しみであります。

この度、8月末に操縦教育証明を取得することが出来ました。

所属本田航空塾をはじめ担当の教官方や多くの方に支えられて、今の私があるのだと思います。感謝申し上げます。有難うございます。

私が初めてこの大空を飛んだのが、16歳の時、滑空機(グライダー)でした。ファーストフライトの感動は、いまだ忘れることはありません。

操縦士の経験は、まだまだ浅く未熟者ですが、初心を忘れず、安全運航を第一に、大空への夢を持つ方々へのお力になれるよう、教官業を一生懸命頑張っていきたいと思っております。

クラブの皆様、お会いする機会がありましたら、どうぞお気軽に声をかけて下さい。ぜひ、今後とも宜しくお願い致します。



教育証明 No.2280

## 新教官自己紹介

皆様、初めまして。嘉福県出身宮崎育ち 28歳、奈須と申します。  
奈須といましても、野菜の中ではきゅうりやはくさいを好んで食べます。  
さて、私は2020年4月にANA航空に入社し先日11月に操縦教育証明実地試験を受験し合格しました。入社して早々教育証明の訓練に入り、右も左も上も下もわからない私に手取り足取り教えてくださった教官方のおかげで合格することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

今後はクラブの皆様、そしてこれから空を目指す方たちのために日々教官業に磨きかけ、毎日の安全運航に努めて参ります。

まだまだ未熟者ではございますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



教育証明 No.2283

奈須 教高

# 新入社員紹介

本社 運航管理課  
三原 菜摘

はじめまして。9月1日付で入社し、運航管理課に配属となりました三原菜摘（みはらなつみ）と申します。前職は地方空港にて国内航空会社のグランドスタッフとして勤務しておりました。現在、運航管理担当者になる為にまだ勉強中の身ですが、クラブ会員の皆様や訓練生の気持ちに寄り添い、安全運航に努めて参ります。エアラインでの経験を活かし、無線を通して笑声でサポートしたいと思っております。不慣れな点も多々あるかと存じますが、お気軽にお声がけいただけますと幸いです。みなさまどうぞよろしくお願いたします。



## 伊藤教官との思い出

5534 河合秀晃

この度の伊藤教官の訃報に触れ、全く予想していなかったことでしたので絶句していたさなかに、教官との思い出を寄稿せよとのご依頼をいただきました。

私ほど伊藤教官のお手を煩わせたり、また、お世話になったりした訓練生はいなかったのではないかとの思いもあり、30年近くにわたる教官とのフライトを思い起こしてみることになりました。

初めて訓練していただいたのは1992年のことで、当時のシラバスでTR23というAWからTR24、25と最初のNAV訓練に進むところでした。

伊藤教官の訓練は独特な語り口で、答えを直接与えるというよりは、訓練生に質問を投げかけて自分で考えさせるやり方です。いわゆる体育会系の体得式ではなく、さりどて理に走りすぎることもなく、実用的で非常にバランスのとれた訓練でした(もっともそうわかったのはずっと後のことで、当時はただただ一生懸命教官についていくだけでしたが)。



当時の訓練記録より

一度大島に訓練で行ったときに、“洋上の巡航高度はどれくらいで飛びますか？するとエンジン停止した場合に着水までは何秒くらいありますか？その間にライフジャケットを装着することは可能ですか？”という具合で質問され、結局予めライフジャケットをつけて機体に乗込まれたのがとても印象に残っています。





大島にて

また、まだ免許取得前の訓練生時代にクラブ大会で同乗していただき、なんと優勝までしてしまったことも、とても思い出に残る出来事です(それ以降 2 度と優勝できておりません)。270° Spot LDG のショートファイナルで、怖くなってどうしても機首をあげて速度を切ってしまいそうなのを、“だめだ！ここで頭上げたら負けだぞ！”と神聖なる神の声が聞こえてきたのを今でも覚えています。

その後担当教官として猛特訓していただいた後の CAB 実地試験。当時は本田航空社屋の上層階が“ホンダホテル”になっていましたので、そこに前泊させていただき(といっても緊張して一睡もできなかった)、試験当日早朝 1 階に降りると、既に出社されていた伊藤教官がウエザーなど確認されながらにこやかに迎えてくださったのも懐かしい思い出です。低視程下での AW、すごく暑くて試験官もぼてしてしまうような中で NAV など苦労しましたが何とか合格。教官には本当にお世話になりました。



試験直前の猛特訓

何とか合格(二人ともすごく若い！)

それからずっと後になり特定技能審査の制度が開始された時には、ホンダフライングクラブでの初めての特定技能審査ということで、私が伊藤教官に審査していただきました。しばらく伊藤教官とは飛んでいなかったのですが、“ずっと前に飛び立った子供が久しぶりに帰ってきたようで感慨深いですねえ”、と笑っておられました。

その後何度か特定技能審査もしていただきましたが、2019 年 1 月に審査いただいたのが最後になってしまいました。2021 年の審査も伊藤教官にやっていただけるもの

と思いでいたのに心残りであり、残念でなりません。まだまだたくさんを教えていただきたかった。

今後も伊藤教官の教えを守って安全飛行に努めようと改めて思います。

自家用操縦士の訓練のみならず、教育証明などとても多くの訓練を担当され、多くのパイロットを育ててこられた伊藤教官のご冥福を、全ての教え子とともに心よりお祈り申し上げます。

伊藤 義則教官

安らかにご永眠されますようお祈りいたします

享年 59 歳



公益社団法人日本航空機操縦士協会主催

# 航空安全講習会（埼玉会場）

## 実施報告

去る令和2年8月30日（日）に川島町役場にて、日本航空機操縦士協会主催の航空安全講習会（埼玉会場）が実施されました。例年通りですと4月に開催されていますが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、日程を変更し、感染対策を行い実施いたしました。クラブ員他49名の方々にご参加いただき、無事終了することができました。

実施内容としては、元航空従事者試験官の浦松様より「最近の変更事項」を、本田航空操縦士の黒川様より「操縦士と飲酒」についてご説明いただきました。近年、航空業界を取り巻く飛行環境は日々変化しており、レジャー飛行される皆様においても重要なことがらを分かりやすくレクチャーしていただきました。

休憩を挟んでからの講義として、日本航空機操縦士協会副会長の大澤様より「航空局からの安全情報について」をご説明いただき、講習会は終了となりました。

この講習会を修了すると、特定操縦技能審査の口述審査が一部免除となります。特定操縦技能審査の更新は2年毎ですが、安全講習会は毎年日本全国の会場で開催されていますので、ぜひ毎年のご参加をお願いします！！



## 令和3年度ホンダフライングクラブ定例総会

### および安全講習会について

日頃から、当会活動の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当会では例年ですと令和3年4月に、定例総会及び安全講習会を開催予定ですが、  
現在コロナウィルス感染が拡大している状況を鑑み、開催可否について検討中です。日  
程が決まり次第、改めてご案内させていただきます。  
何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

HFC 事務局

### 〇クラブ員向け表彰制度のご案内〇

毎年、通常総会にて飛行年数または飛行時間の表彰を行っています！

開催未定ですが、表彰状等はお送りしますので、我こそはという方は

お待ちしております

#### 【対象】

- ・飛行時間 300時間以上の100時間毎(例:400時間、500時間…)
- ・飛行年数 10年以上の5年毎(例:15年、20年…)

#### 【申告方法】

申告書にてFAXまたはコピーをクラブ事務局へ提出してください。  
申告書は本田航空ホームページ(<http://www.honda-air.com/>)からも  
ダウンロード可能です。

## ～特定技能審査の心得(口述編)～

操縦士のみなさまが避けては通れない特定操縦技能審査。2年に一回の審査ということで審査の内容について忘れてしまうこともあると思います。特に口述について不安だという声をよく耳にしますので、ここで気を付けたいポイントなどをおさらいして、次回審査の際に参考にしてください。

### はじめに

「特定操縦技能審査を行う審査員（操縦技能審査員）は口述審査にあたっては、原則として「特定操縦技能審査口述ガイダンス」から出題しなければならない。」とあります。ですのでこれに従って知識のおさらいをしていけば怖くありません。ガイダンスは、航空機の種類毎に、

#### 第1部 最近の変更点

#### 第2部 恒常的に知識のレビューをすべき点

で構成されています。第1部の出題においては、被審査者の前回の審査時期を考慮して出題されます。ただし第1部に記載されていない事項で、直近の規則等（法令等）の改正点及び過去2年間で運航に必要と思われるAICについては、操縦技能審査員の判断で質問できるとあります。さっそく出題例をみていきましょう。（解答例は次ページ中段から）

### <第1部>

#### 【飲酒編】

- (1) 航空法第70条に定められた酒精飲料（アルコール）または麻酔剤その他の薬品に関する規制について説明してください。
- (2) 航空機乗組員の飲酒による運航への影響やルールについて説明してください。
- (3) 航空機乗組員がアルコールの影響によって正常な運航ができないおそれがある状態について、一定の目安となる体内アルコール濃度について説明してください。
- (4) アルコール検知器を正しく使用するための注意点を説明してください。

#### 【運輸安全委員会の勧告について】

(略)

#### 【管制方式基準改正編】

- (5) 滑走路からの離陸許可に係る用語について説明してください。
- (6) 離陸後の旋回又は直線出発等を要求した出発機に対しての離陸許可に係る用語について説明してください。
- (7) 滑走路への着陸許可（ローアプローチ/タッチアンドゴー/ストップアンドゴー/オプションアプローチの各許可含む）に係る用語について説明してください。



<第2部>

【一般知識編】

- (1) 操縦者の見張り義務及びその目的について説明してください。
- (2) VFRで飛行しているとき、入域前に通信設定又は許可を受けなければならない空域等について航空図を参照して答えてください。
- (3) VFR飛行中における気象情報の入手要領は。
- (4) 無線機故障時の飛行要領は。
- (5) 燃料欠乏による緊急状態の宣言に使う用語は何か。

解答例

第1部【飲酒編】

- (1) 航空法第70条において、酒精飲料又は麻酔剤その他の薬品の影響により航空機の正常な運航ができないおそれがある間は、航空業務を行ってはならないと定められている。また、航空法第70条の規定に違反した場合には、罰則や行政処分の対象となる。
- (2) アルコールによる身体への影響は、個人の体質やその日の体調により異なるため、体内に保有するアルコールが微量であっても航空機の正常な運航に影響を与えるおそれがある。このため航空機乗組員は体内に保有するアルコール濃度の程度にかかわらず体内にアルコールを保有する状態で（呼気アルコール濃度 0.09mg/l 未満であっても）航空業務を行ってはいけない。乗務前日の飲酒を控えるとともに、検知器を使って客観的に確認することも必要。
- (3) 身体に血中アルコール濃度 0.2g/l 以上又は呼気アルコール濃度 0.09mg/l 以上のアルコール濃度を保有している場合又はこの数値にかかわらず、アルコールの影響により反応速度の遅延等航空機の正常な運航ができないおそれがあると認められる場合には航空業務を行ってはいけない。
- (4) アルコール検知器の使用にあたっては、アルコール検知器メーカーの定める使用方法に従うことに加え、①検査前の飲食、口腔内の影響を避けるため、検査前に水でうがいをおこなうこと②飲食後から検査までの時間は各アルコール検知器メーカーの指示に従うこと③検査前は手指洗剤、制汗シート等アルコール成分を含むものの使用を控えること。

【管制方式基準改正編】

- (5) 離陸許可は風向風速の値及び滑走路番号を前置して発出される。  
例：JA\*\*\*\*, wind 090 at 10, Runway 09, cleared for take-off.
- (6) 離陸後の旋回又は直線出発を要求した出発機に対しては、その可否等を離陸許可の前に付加し、要求を許可できない場合は代替指示を発出する。  
例：JA\*\*\*\*, unable Right turn, make Left turn, wind 090 at 10, Runway 09, cleared for take-off.

(7) 着陸許可は滑走路番号を前置し、風向風速の値を後置して発出される。

例：JA\*\*\*\*, Runway09, cleared to land, wind 090 at 10.

## 第2部 【一般知識編】

- (1) 航空機の操縦を行っている者は、航空機の航行中は法第96条第1項の規定による国土交通大臣の指示に従っている航行であるとないかかわらず、当該航空機外の物件を視認できない気象状況の下にある場合を除き、他の航空機その他の物件と衝突しないように見張りをしなければならぬ。
- (2) (参考) 法第93条(航空交通の指示)第1項、第3項～第4項  
法第96条の2(航空交通情報入手のための連絡)  
法第94条の2(計器飛行方式による飛行)  
法第95条(航空交通管制圏における飛行)
- (3) 気象情報が入手可能な期間のコールサインや周波数について確認する。  
(参考) AIP GEN3.3 航空交通業務 3.4 広域対空援助業務  
AIM-J 240、241、242、243、245、503、823
- (4) 野外航法の間地点で無線機故障に陥った場合の処置について説明する。VFR機の場合、コードを7600に切り替え、VMCを維持して着陸可能な最寄りの空港等に着陸しなければならない。  
(参考) 施行規則第206条(通信機の故障の場合の航行)、AIM-J 780～781
- (5) 燃料欠乏による緊急状態により、一刻も早い着陸が必要であると判断した場合には、急迫した緊急状態の宣言として次の用語を使用する。この用語が通報された場合は、管制機関は遭難の段階として対処する。  
例：Mayday Mayday Mayday Fuel 又は Mayday Fuel。  
(参考) AIM-J 791

今回こちらで紹介したのはガイドランス内のほんの一部の問題となります。他にも航空機の性能・諸元を問う問題や飛行中に起こりうる身体への影響・限界事項なども問題に挙げられています。また、飛行機だけでなく回転翼航空機、滑空機についても掲載されているので飛行機以外のパイロットにもぜひ確認してほしいです。日々更新される情報を身につけて、安全にフライトを楽しみましょう！！



## クラブ員のみなさまへ



本田航空正面入り口に、手のひらでできる検温器を設置しました。

なお、操縦する方は別途運航管理室にて検温が必要になります。



みなさま新年あけましておめでとうございます。本年も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願いいたします。

本年より前任の小山から事務局を引き継ぎました、運航管理の秋元と申します。まだ引き継いだばかりで、皆様にはご迷惑をお掛けする事が多々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。



事務局では皆様からの写真を募集しております。

頂いた写真の中から、事務局写真審査員会にて厳正な審査を行い、今後WINGNEWSの表紙に名前付きで発行致しますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

HFC事務局写真審査室長(自稱) 秋元

ウイングニュース238号

発行者 ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141 埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社 内

☎049-299-1105

✉club@honda-air.com